

## 府中市公共施設マネジメント基本方針（案）に対するパブリック・コメント手続の実施結果

### 1 意見の提出期間

令和3年11月22日（月）から12月21日（火）まで

### 2 意見の提出者数等

提出者数	件数	意見の提出方法別の人数				
		Eメール	FAX	郵送	意見投函箱	窓口
2人	2件	1人	1人	0人	0人	0人

### 3 意見の概要と意見に対する市の考え方

No.	意見の種類	意見の概要	市の考え方
1	7つの方策について	「方策5 施設の維持・運営に係るコストの見直し」に賛同する。 施設全体の効果的な維持管理を行う上で、光熱水費を含めたライフサイクルコストが適正となるよう取り組むことが重要である。 ガス・電気料金とも原料費・熱量費の変動リスクがあり、電気料金等の値上がりは、ライフサイクルコストを上昇させるリスクの一つとなっている。また、電気使用量の増加により設備投資の費用が増加することも考えられる。ライフサイクルコストの適正化をするためには、ガス・電気といった公共施設に関わるエネルギーの効率化が重要である。	公共施設に係る費用の増加が見込まれている中で、ライフサイクルコストの低減は非常に重要であると捉えています。 公共施設に係る様々なエネルギーの活用については、市民の皆様様に安心・安全に施設を利用していただくことや、環境に対する配慮を行った上で、より効率的な手法を検討してまいります。
2	公共施設マネジメントの取組について	公共施設は市の財産であり、住民のために活用してほしい。 また、そのための情報公開と、住民合意の話し合いを行ってほしい。	公共施設マネジメントの取組については、市ホームページ、広報、SNSなどを活用し、随時情報を発信してまいります。 また、取組を進めるに当たっては、公共施設全体を取りまく課題を市民と市の双方が十分に理解した上で、必要な情報を共有しながら、共に進めてまいります。